

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日： 2023 年 12 月 28 日

事業所名： 夢門塾ゆうゆう網干

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	7	0	0	運動室を区切って利用したりする。(危険がないように鬼ごっこをしている子どもとバランスボールをしている子ども等)
	②	職員の配置は適切である	6	1	0	適切な配置をしている。
	③	衛生面の管理が行き届いている	7	0	0	日々の清掃を行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	0	1日の行事の際には担当者が振り返りを計画書にも記載して振り返る様にしている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	7	0	0	毎回アンケート実施後には職員会議の中で改善案などをみんなで話し合っている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	7	0	0	会社を通して公開している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	7	0	0	会社が定期的に研修を実施しており、大勢の職員が積極的に参加している。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	7	0	0	カンファレンスの時、職員全員で共有できている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	7	0	0	毎月みんなで話ができているので支援内容を共有しやすい。会議等で全職員参加して話し合うことができている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	7	0	0	曜日で同じような内容(クッキングが続くなど)にならないように考えていると思う。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	7	0	0	職員会議で1か月の予定を利用者の状況を見ながら決めている。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	7	0	0	子どもの様子に応じてマンツーマンの職員配置などの変更などを行っている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0	子どもの前日までの様子を共有するなど細かく打ち合わせができている。朝礼での内容を朝ノートを作り、午後からの非常勤も確認できるようになっている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	必ず毎日提供記録を記入してから退勤を行うようにしている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0	子どもの成長に合わせてその都度話し合い成長に合わせた支援ができるよう配慮している。
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	7	0	0	季節の行事などを意識して積極的に取り入れている。	

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	0	送迎時(厳しければ電話)に細かく保護者の方に伝えることができています。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	5	2	0	初めて利用する児童についてはできるだけ行っている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	7	0	0	移行の際には、書面等で引継ぎを行っている。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	0	相談支援事業所とは連携を図りながら支援を進めている。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	7	0	0	職員連携して支援ができるような体制を整えている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	7	0	0	契約の際には丁寧な説明を心掛けており、わからない箇所がないか保護者の方に確認を取っている。また、何かあればいつでも言ってくださいと伝え、契約時以外でもわからないことがあれば聞いて頂けるように心掛けている。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	6	1	0	相談支援事業所の方とも連携を取りながら進めている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	6	1	0	コロナ以降はしている。保護者の方々の意見を聞く。また保護者同士で情報交換ができる場を持つことができて良かった。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	ご意見があった際には職員に周知をするとともに、エリアマネージャーにも報告を徹底している。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	7	0	0	夢通信を毎月発行し、保護者から喜びの声を聴く。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	7	0	0	職員同士でも声をかけあいながら個人情報の取り扱いには気を付けている。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1	0	保護者に報告している。(送迎時)
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	6	1	0	昨年は兵庫エリア全事業所で太子の福祉フェスティバルに参加を行い、できるだけ地域の行事に参加できるよう努めている。
非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	7	0	0	事業所で保管をしている。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	7	0	0	地域消防署に来て頂き、体験をもって訓練できていると思う。火災だけでなく地震や避難場所、災害避難袋、保存食等その都度テーマを決めて行っている。
	㉒	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	会社主催の虐待防止研修を定期的に行っており、職員が参加している。
	㉓	いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	7	0	0	身体拘束は行っていない。
	㉔	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	7	0	0	与薬が必要な際には職員が複数名で確認を行い、与薬票に確認のサインも行っている。
	㉕	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	7	0	0	事業所でファイルを作成して保管している。
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
<p>夢門塾網干としては、子どもたちが様々な経験を積むことができるようにプログラムを工夫して支援を行っているが、夢門塾の中だけに留まらず、参加できそうな地域の行事があれば積極的に参加をして、障がいの有無に関わらず、様々な子どもたちや地域の方々と交流していきたいと考える。</p>						